

## 再評価チェックリスト

番 号	1		再評価の実施理由	H27年度(採択)より5ヶ年を経過しているため
事業名	県単林道事業	事業主体	能登町	
名称	林道 河ヶ谷線	箇所名	能登町字 河ヶ谷 地内	
事業内容	位置付け	本路線は、能登町の東に位置し、能登町森林整備計画において路線整備として位置付けられており、県道小木時長線と町道河ヶ谷明野1号線を連絡する林道である。		
	目的	森林の利用区域面積は114ha(人工林60ha、天然林等54ha)であり、森林の適正な管理や効率的な林業経営の促進を図ることを目的としている。 河ヶ谷地区と程谷地区を結ぶアクセス路としての役割のほか、3.0haにおよぶ農地を受益しており営農面での道路としての機能も備えている。		
	事業概要	1. 総事業費 90,000千円【県費 40% 36,000千円・町費 60% 54,000千円】 2. 事業量 計画延長 L=3,285m 車道幅員 W=4.0m		
	計画期間	着手年度 平成27年度 完了年度 令和11年度	都市計画決定(最新)	都市計画区域外
			事業認可期間	平成27年度～令和11年度

### 【事業の必要性に関する視点】

事業をめぐる社会情勢の変化	木材価格の低迷など森林を取り巻く環境が厳しい中で森林の適正な管理を推進していくためには、手入れの必要な森林への到達や間伐などの森林整備を図るため路線の整備が不可欠となっている。			
事業の投資効果	効果(水源地保全効果、木材生産利用効果、森林整備縮減効果、アクセス短縮効果)			
事業進捗状況	全 体	R4年度まで	進捗率	今後の見通し
事業量(面積)	L=3,285m	L=1,525m	46.8%	能登町森林整備計画により継続し、事業完了を目指す。  実績を勘案すると全体事業費が60,000千円程度に縮減される見込みである。
工事費(千円)	90,000	28,400	31.6%	
用地買収補償費(千円)	-	-	-	
事業費計(千円)	90,000	28,400	31.6%	
利用状況及び住民の意向	森林の適正な管理や効率的な林業経営の推進が図られる。また、この路線には河ヶ谷地区林道愛護組合が組織されており、林道河ヶ谷線の巡視及び維持管理が実施されている。住民の意向としては、地元からH26.2.3に舗装整備を望む要望があり、早期完成が望まれている。(町においては、H26.3.11 舗装整備を進めていく旨の回答をしている)			

### 【事業の進捗上の見込みに関する視点】

今後のスケジュール	平成27年度の事業着手以来、順次に事業を実施しているところである。令和5年度以降の残延長は1,760mあり、毎年、事業量L=250m、工事費5,000千円のペースで整備を進めていけば令和11年度の完成を見込む。
事業が長期にわたる理由	当路線は全体事業量がL=3,285mと長いこともあり、また、県単の補助事業により事業を実施していることから長期計画とならざるを得ない状況となった。

### 【コスト縮減や代替立案等の可能性】

コスト縮減や代替立案等の可能性	県単林道事業を実施するうえで、必要最小限の工種(アスファルト舗装工、路盤工)の実施として いる。
対応方針案	
理由	